

第91回（令和4年7月21日） 新型コロナウイルス感染症対策 アドバイザリーボード	資料3-4
西田先生提出資料	

都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター

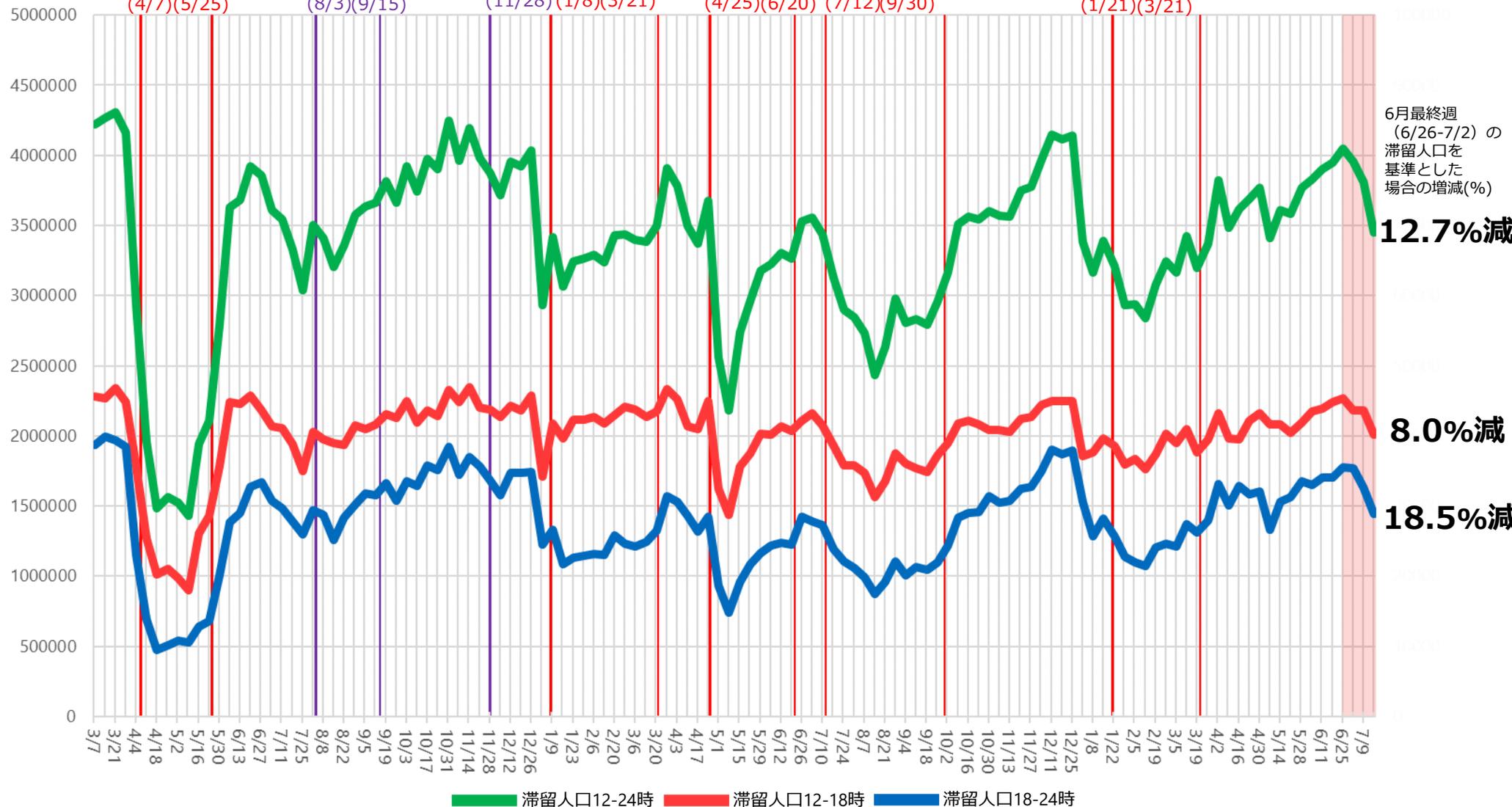
東京都内・主要繁華街 滞留人口モニタリング (7月16日までのデータ分析：要点)

【直近の繁華街滞留人口の状況】

- 夜間滞留人口（18-24時）：新規感染者数の急増にともない、直近3週間で18.5%減少。多くの人々が自主的にハイリスクな行動を控えている。新型コロナ流行前の2019年同時期水準に比べ 48.2%も低い水準で推移している（2020年同時期水準とほぼ同じ）。
- 昼間滞留人口：夜間滞留人口ほどの減少は見られないものの、直近3週間で8.0%減少。前回重点措置期間中とほぼ同じ水準で推移。
- 夜間滞留人口・世代別占有率：世代別占有率は、若年層では微減、中高年層・高齢者層では横ばい～微増。

時間帯別主要繁華街滞留人口の推移：東京（2020年3月7日～2022年7月16日）

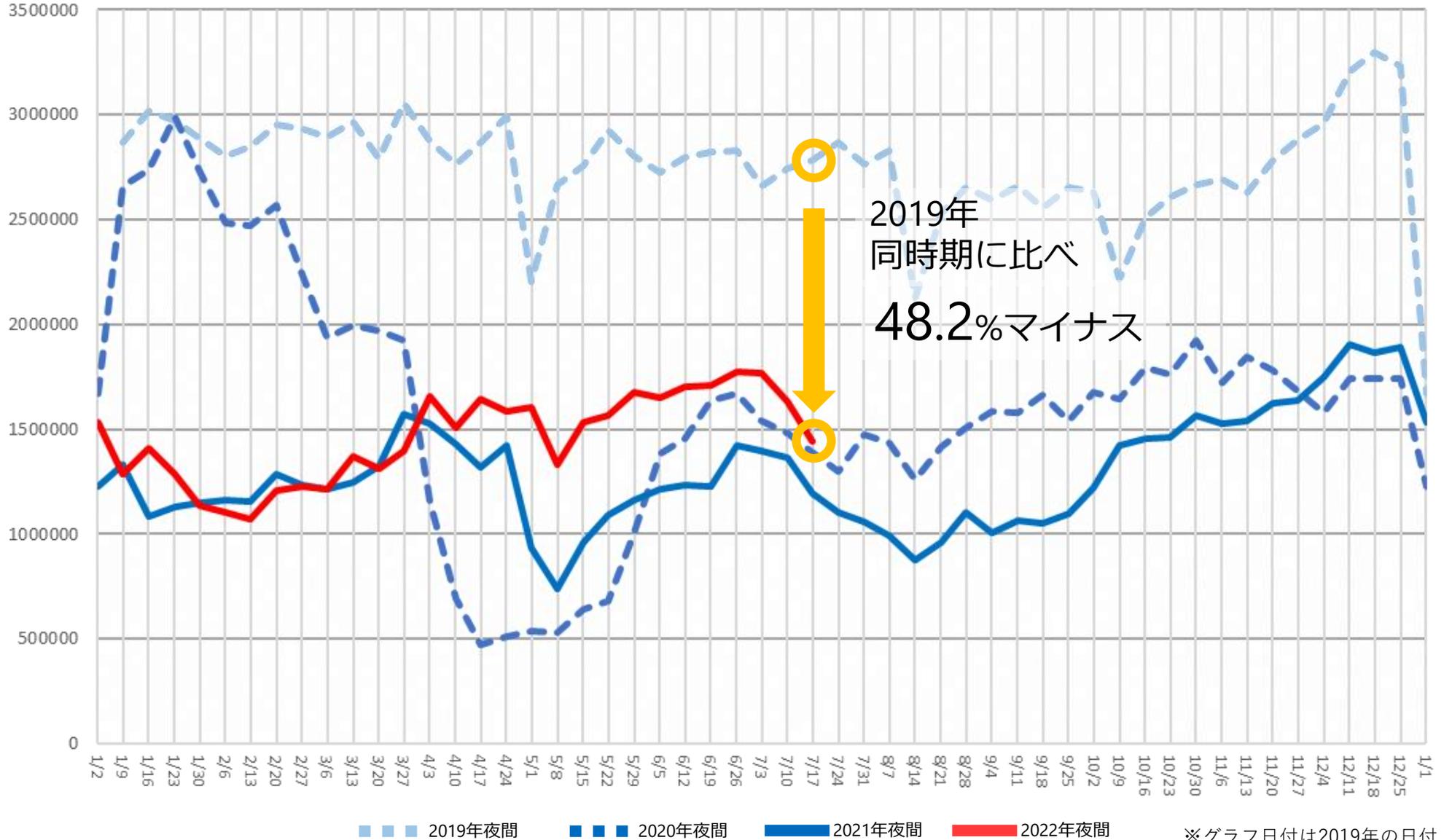
繁華街
滞留
人口
(人)



※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

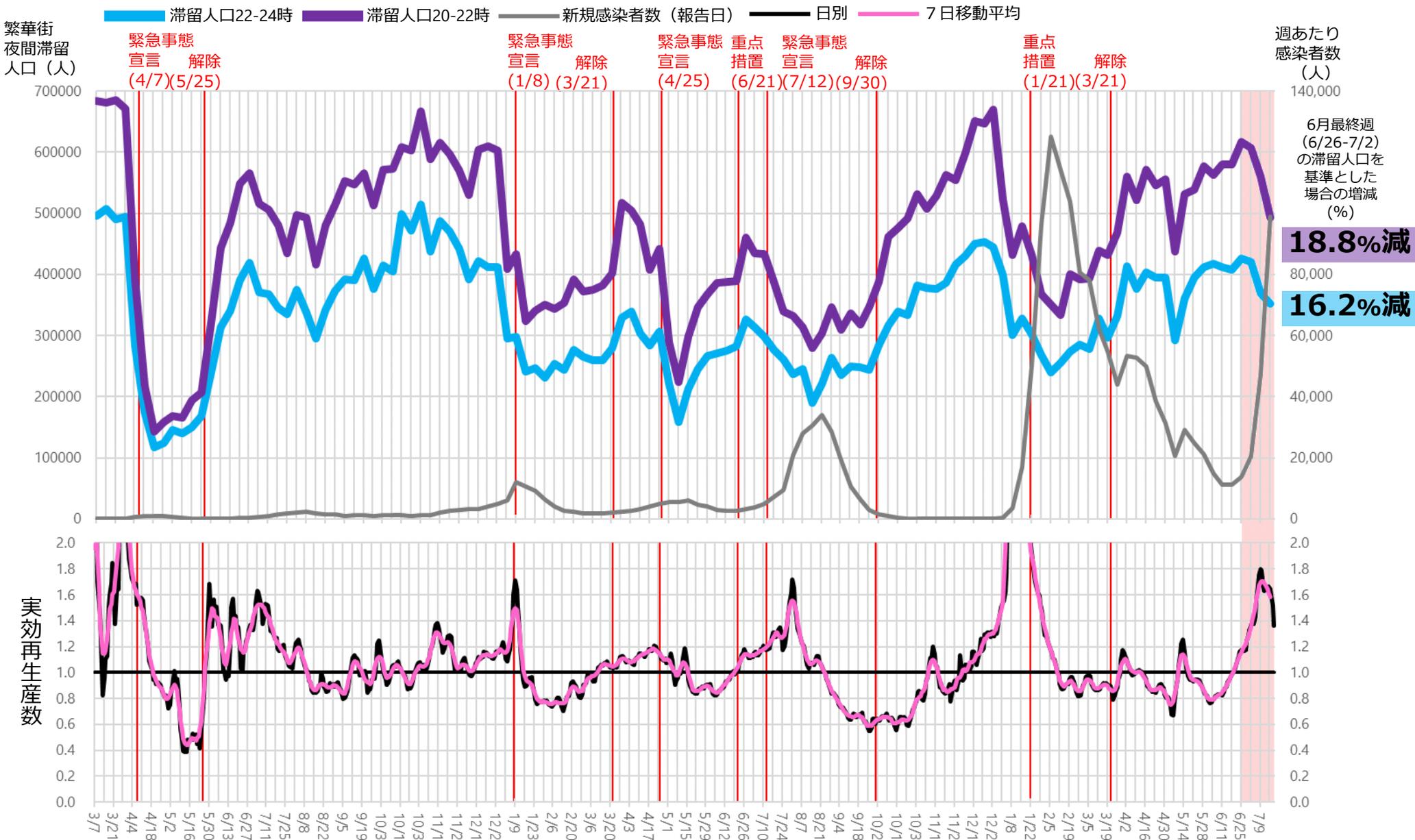
繁華街夜間滞留人口（18-24時）東京：2019年以降の推移（2019年1月6日～2022年7月16日）

繁華街
滞留人口
(人)



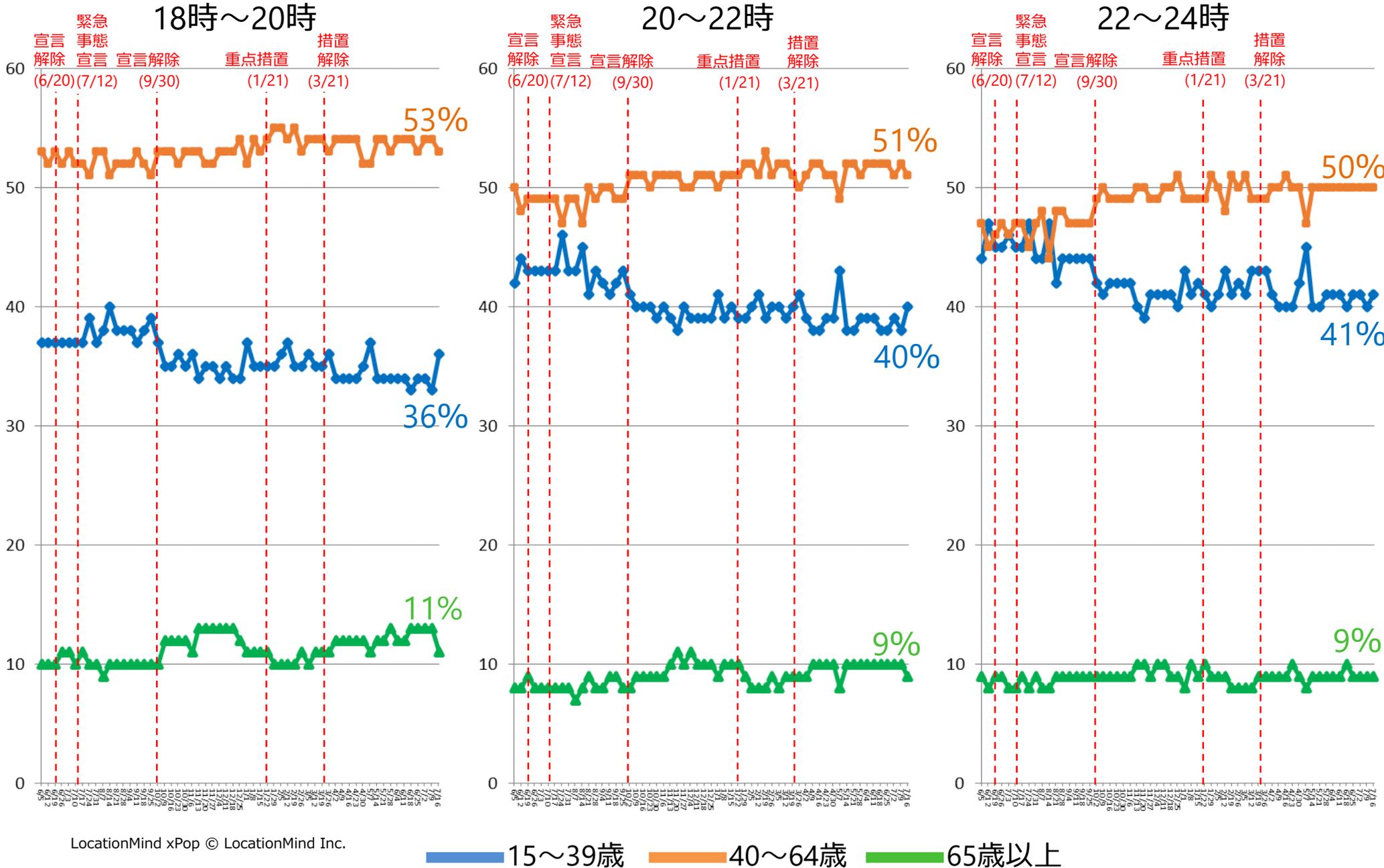
※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数：東京（2020年3月1日～2022年7月16日）



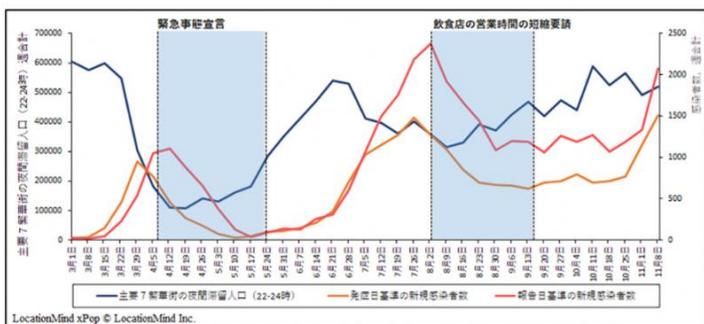
※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

都内主要繁華街における夜間滞留人口の年代別占有率 (2021年6月1日～2022年7月16日)



ハイリスクな滞留人口と感染状況との関連

- GPSの移動パターンから**主要繁華街(ハイリスクな場所)にレジャー目的(ハイリスクな目的)で滞留したデータを抽出**※
- **夜間帯(ハイリスクな時間帯)の滞留人口量を1時間単位で推定**
- **繁華街夜間滞留人口データとその後の新規感染者数、実効再生産数との関連が確認されている**※※



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。

※※ Nakanishi M, Shibasaki R, Yamasaki S, Miyazawa S, Usami S, Nishiura H, Nishida A. On-site Dining in Tokyo During the COVID-19 Pandemic: Time Series Analysis Using Mobile Phone Location Data. *JMIR mHealth and uHealth*, 2021